

「公共交通等の利用について」に関するアンケートの実施結果報告

「公共交通等の利用について」に関するアンケートの実施結果を次のとおり報告します。
このアンケート結果につきましては、今後の公共交通等に係る施策の参考とさせていただきます。
アンケートにご協力下さいました e-モニターの皆様には、厚く御礼申し上げます。

なお、アンケートの内容や回答集計については、下の URL をご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top:result&id=82>

アンケート概要

1 アンケート実施期間

平成 22 年 10 月 25 日から平成 22 年 11 月 8 日まで

2 回答率等

対象者数 1,362 人

回答者 921 人

回答率 67.6%

3 回答者の属性

性別 【男性 492 人 (53.4%)】 【女性 429 人 (46.6%)】

年代別

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
人数	82 人	209 人	245 人	202 人	133 人	50 人
割合	8.9%	22.7%	26.6%	21.9%	14.4%	5.4%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	435 人	233 人	120 人	100 人	33 人
割合	47.2%	25.3%	13.0%	10.9%	3.6%

* 北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡
中勢：津市、松阪市、多気郡 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡
伊賀：名張市、伊賀市 東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡 南牟婁郡

アンケートの結果

Q 1（公共交通機関の利用率）について

「ほぼ毎日利用している」と回答された方が 79 人（8.6%）、「週に 1、2 回くらい利用している」と回答された方が 38 人（4.1%）と、合わせて 12.7%（117 人）の方が公共交通機関をよく利用している状況が伺えます。地域別では、北勢地域のみが 17.5%と県全体（12.7%）を上回っています

一方、「ほとんど利用しない」と回答された方が 211 人（22.9%）、「全く利用しない」と回答された方が 64 人（6.9%）と、合わせて 29.9%（275 人）の方は、あまり公共交通機関を利用していない状況が伺えます。地域別では、東紀州地域が 72.7%と突出しています。

Q 2（利用している公共交通機関）について

「鉄道（JR）」と回答された方が 257 人（22.9%）、「鉄道（JR以外）」と回答された方が 548 人（48.9%）と、鉄道を利用している方が 7 割（71.7%、805 人）を超えています。次いで、「乗合バス」と回答された方が 187 人で 16.7%を占めています。

Q 3（公共交通機関の利用目的）について

「旅行」と回答された方が 269 人（24.9%）と一番多く、次いで、「買い物」と回答された方が 247 人（22.9%）、「趣味」173 人（16.0%）、「仕事（通勤を除く）」166 人（15.4%）、「通勤」108 人（10.0%）と続いています。

なお、「通学」と回答された方が 8 人（0.7%）と非常に少ない理由は、回答者が 20 歳以上であったためと推察されます。

Q 4（公共交通機関を利用しない理由）について

「自分（家族等）が自家用車を運転でき、自家用車を利用した方が便利だから」と回答された方が約 4 割（39.7%）を占めています。次いで、「自家用車と比較して移動に時間がかかるから」84 人（14.0%）、「運行本数が少ないから」79 人（13.1%）、「駅、バス停等が自宅から遠いから」63 人（10.5%）と続いています。

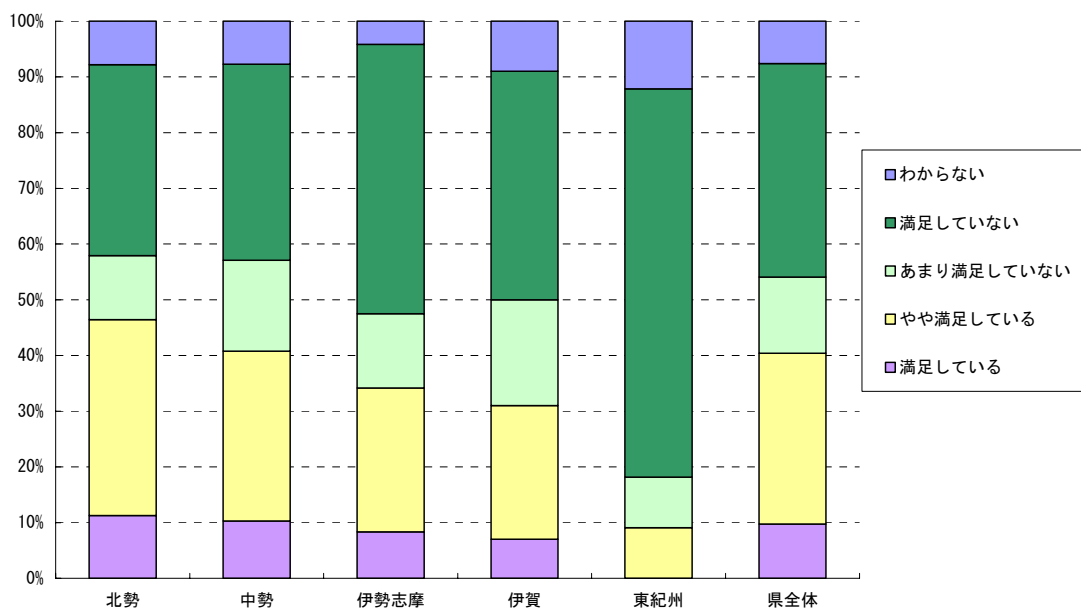
Q5（公共交通機関の満足度）について

「満足している」と回答された方が 90 人（9.8%）、「やや満足している」と回答された方が 282 人（30.6%）と、合わせて約 4 割（40.4%、372 人）の方が県内の交通機関の現状に（やや）満足している状況が伺えます。地域別では、北勢地域が 46.4%と一番高く、東紀州地域は 9.1%と低率になっています。

一方、「あまり満足していない」と回答された方が 126 人（13.7%）、「満足していない」と回答された方が 353 人（38.3%）と、合わせて 5 割以上（52.0%、479 人）の方が（あまり）満足していない状況が伺えます。地域別では、東紀州地域が 78.8%と突出しています。

※この設問において、選択肢の 3 番目が「あまり満足している」となっていました。ご迷惑をおかけしましたこととお詫びします。

Q5 公共交通機関の満足度



Q6（県外へ行きましたか）について

Q7（県外への交通機関）について

Q6では、96.6%（890人）の方が県外へ「行った」と回答されており、Q7で利用された交通機関についてお聞きしました。

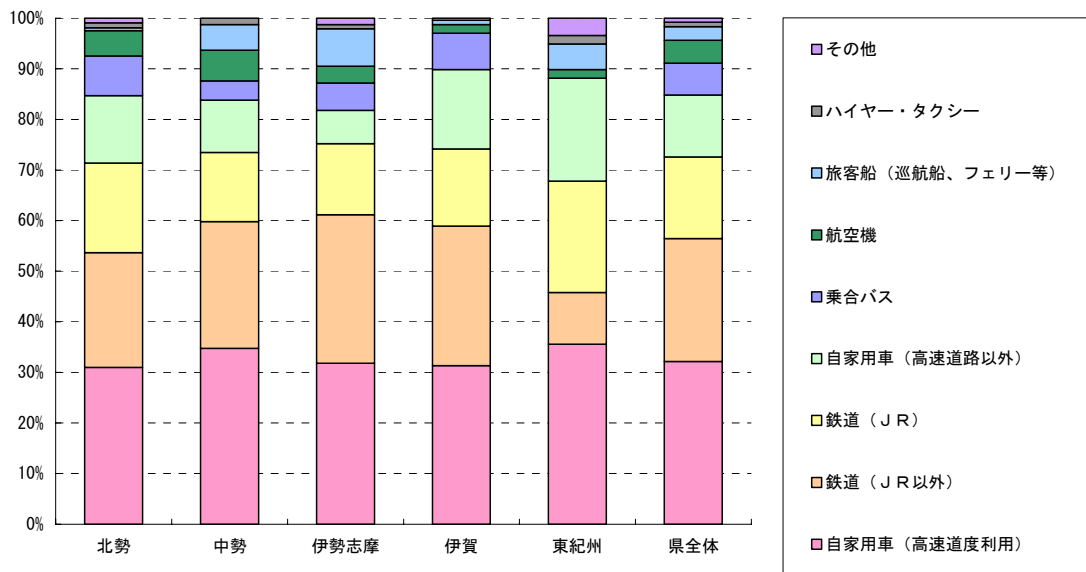
「自家用車（高速道路利用）」と回答された方が636人（32.2%）、「自家用車（高速道路以外）」と回答された方が242人（12.2%）と、合わせて44.4%（878人）の方が自家用車を利用されています。

また、「鉄道（JR）」と回答された方が319人（16.1%）、「鉄道（JR以外）」と回答された方が480人（24.3%）と、合わせて40.4%（799人）の方が鉄道を利用されています。

「乗合バス」については124人（6.3%）、「航空機」については90人（4.6%）、「旅客船（巡航船、フェリー等）」については53人（2.7%）に止まっています。

なお、公共交通機関（鉄道、乗合バス、ハイヤー・タクシー、旅客船、航空機、その他のうちこれらに類するもの）の県外への利用率は、55.1%となっています。

Q7 県外への交通手段について



Q8（広域・高速交通の重要認識度）

「重要だと思う」と回答された方が 427 人（46.4%）、「やや重要だと思う」と回答された方が 289 人（31.4%）と、合わせて 77.7%（716 人）の方が広域・高速交通ネットワークは（やや）重要だと思われています。地域別では、伊勢志摩地域が 82.5%と一番高くなっています

一方、「あまり重要だと思わない」と回答された方が 123 人（13.4%）、「重要だと思わない」と回答された方が 48 人（5.2%）と、合わせて 18.6%（171 人）の方が（あまり）重要だと思われていません。地域別では、伊賀地域が 23.0%と一番高くなっています。

Q8 広域・高速交通の重要認識度

